

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成21年 6月

(平成21年 5月末調査)

平成21年6月22日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【4月】	諏訪公共職業安定所管内	0.41倍	△0.87ポイント
手形交換高【5月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,093枚	△1,529枚
	金 額	8,088百万円	△3,538百万円
	うち不渡り	0枚	±0枚
	発生状況	0千円	±0千円
電力使用量【5月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	53,180 MWh	△0.7%
	高圧電力計	83,688 MWh	△17.9%
	合 計	136,868 MWh	△12.0%
車庫証明取扱件数【5月】(諏訪地方合計)		814件	△20.1%
新設住宅着工件数【21年4月】(諏訪管内)		79戸	△62.2%

□本文は、当金庫取引先の約120社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

●製造業

自動車関連の下請企業の受注は、ハイブリット車向けは増加傾向であり一般自動車向けを含めた総体でも底打ち感がきかれるものの底這いの状況が続いている。工作機械・専用機は、自動車やその他の産業用機械向けともに設備投資の水準は低く、生産は前年比では大幅に減少している。ダイカスト関連では、自動車部品は低調なもののガス器具向けは堅調な推移となっている。デジタルカメラ関連の受注は企業により区々であるが、前年同月比では大幅な減少となっている。

地域製造業の受注状況は前年同月比では大幅な減少が続いているものの、対前月比の受注水準を維持している企業が多く、またキャンセルとなっていた案件の再始動や見積り依頼数の増加がきかれるなど、回復力は弱いものの底打ち感が出てきている。

●商業

諏訪地方の5月の天候は、寒暖の差が大きく上旬には真夏日となった日があったものの、中旬から下旬にかけては気温の低い日が多くなった。

家電販売では、政府のエコポイント制度の開始に伴い対象商品の売れ行きは伸びたものの、自動車販売では諏訪・岡谷を合わせた5月の車庫証明件数(軽自動車除く)は814台で前年同月比△205台(△20.1%)の減少と8ヶ月連続の前年割れとなっており、エコカー減税の効果はまだ出ていない。食料品は特売商品やPB商品などの売れ行きは堅調であるが、顧客の低価格志向は強く客単価は低下している。

新型インフルエンザ対策で、マスクや除菌グッズは品切れが出るなど売れ行きを伸ばした。

●観光業

5月の大型連休の入り込み客数は前年を上回ったものの、連休の後半や週末の度に雨になるなど高原の観光地を中心に悪天候の影響を受けた。上諏訪温泉の宿泊者数は、善光寺の御開帳による集客効果などからホテル旅館により区々であるが、総体では前年比10%程度増加している。蓼科・白樺湖・車山方面の宿泊者数は、週末の悪天候や新型インフルエンザによる団体客のキャンセルなどから入り込み客は前年を幾分下回った模様である。諏訪大社（上社・下社合算）の参拝客数は約47千人と、団体客の減少などから前年同月比△17千人（△26.8%）の大幅な減少となった。

E T Cの休日割引の効果は限定的であり、各業者からは首都圏の旅行客はより遠方の観光地に流れているとの声がきかれる。

●建設業

市町村の5月の発注工事は、建築工事8件173百万円、土木工事・下水道工事33件215百万円、その他工事7件19百万円の合計48件408百万円で、前年同月比では△17件、△42百万円の減少となった。県関係の5月の公共工事（地元業者受注分）は2件21百万円で、平成21年4月～5月の累計契約は13件169百万円と前年同期累計比では件数は+5件の増加、契約金額は△12百万円の減少となった。平成21年度予算工事が2月から3月にかけて前倒し発注されたため、今後の工事発注の減少が危惧される。

民間工事は、諏訪地方の4月の新設住宅着工件数は79戸で前年同月比では△130戸（△62.2%）の大幅な減少となった。

製造業の新設工事の動きは弱く、個人住宅でも受注単価の下落がきかれる。

●雇用

諏訪地域の4月の有効求人倍率は、前年同月を△0.87ポイント下回り0.41倍と対前年比で19ヶ月連続して低下している。また、長野県の同倍率も0.41倍で全国平均の0.46倍を引き続き下回った。

諏訪地域の4月の新規求人（全数）は959人で前年同月比△751人（△43.9%）の減少、新規求職者数は1,692人で前年同月比+516人（+43.9%）の増加となっている。新規求人数は、地域の主力産業である製造業全体で84名と対前年同月比△244人（△74.4%）と大幅な減少となっている。

また、1件10人以上の人員整理は2件36人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は506人と前年同月より371人増加している。

なお、製造業においては引き続き週休3日制などによる生産調整を行っている企業がまだ多くきかれる。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	新製品や試作品などの動きがきかれるが、総体では低調なまま推移している。
コンデンサー	受注は減少している。
プリンター	下請企業の受注は前年同月比では大幅な減少であるが、前月並みを維持している。
コンダクター・リレー	受注は安定して推移している。

2. 輸送用機械

自動車	ハイブリット車向けの受注は増加傾向であり、一般自動車向けも底打ち感がきかれるものの総体では底這いの状況が続いている。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の受注は前年同月比では大幅に減少しているが、底打ち感がきかれる。
船外機	欧米・新興国ともに需要は減少しており、下請企業の受注は前年比では大幅に減少している。

3. 一般機械

工作機械・専用機	自動車やその他の産業用機械向けともに生産は大幅に減少している。
搬送用機械	製造業向けの受注は引き続き低調である。
金型	総体の動きは低調であるが、新規の受注も幾分動き始めた。
ダイカスト	ガス器具向けは引き続き堅調な推移であるが、自動車向けの減少は続いている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの4月の生産台数は846万台で前月比+24.9%増加、前年同月比△28.1%減少となっている。4月の出荷台数は国内出荷74万台、海外出荷819万台で、出荷台数全体では前月比+16.4%増加、前年同月比△21.7%減少となっている。 地域企業の受注は親会社により区々であるが、前年同月比では大幅な減少となっている。
プロジェクター	メーカーの売れ行きは官庁や教育機関向けが堅調であるが、海外生産が主となっており国内での部品加工は減少している。
レンズ	企業により区々であるが、総体では受注は減少している。

5. 織 維

ニット

衣料全般の販売不振の影響から受注量は低下しており、また受注の短納期・小ロットが進んでいる。

6. 食 品

寒天

荷動きは、一般スーパー向け、業務用向けともに堅調である。

味噌

内食志向から家庭用需要は比較的堅調である。

7. 製 材

諏訪地方の4月の木造住宅着工件数は72戸で、前年同月に比べ△67戸減少した。需要が弱含んでおり、建材、木材ともに価格の低下がみられる。

8. 建 設

公共工事

5月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、林道治山工事関係1件、農地整備関係1件の合計2件、契約金額21百万円となっている。平成21年4月～5月の累計契約は13件169百万円と前年同期累計比では件数は+5件の増加、契約金額は△12百万円の減少となった。平成21年度予算工事が2月から3月にかけて前倒し発注されたため、今後の工事発注の減少が危惧される。

市町村の5月の発注工事は、建築工事8件173百万円、土木工事・下水道工事33件215百万円、その他工事7件19百万円の合計48件408百万円で、前年同月比では△17件、△42百万円の減少となった。

民間工事

諏訪地方の4月の新設住宅着工件数は79戸で前年同月比では△130戸（△62.2%）の大幅な減少となった。利用関係別では、「持家」59戸、「貸家」20戸と前年同月比では「持家」が△50戸の減少、「貸家」が△30戸の減少、また昨年は44戸あったマンション等の「分譲」が0戸となるなど全ての利用関係別で減少した。

製造業の新設工事の動きは弱く、個人住宅でも受注単価の下落がきかれる。

9. 商業

諏訪地方の5月の天候は、寒暖の差が大きく上旬には真夏日となった日があったものの、中旬から下旬にかけては気温の低い日が多くなった。

家電販売では、政府のエコポイント制度の開始に伴い対象商品の売れ行きは伸びたものの、自動車販売ではエコカー減税の効果はまだ出ていない。食料品は特売商品やPB商品などの売れ行きは堅調であるが、顧客の低価格志向は強く客単価は低下している。

新型インフルエンザ対策で、マスクや除菌グッズは品切れが出るなど売れ行きを伸ばした。

衣料 子供用衣料は比較的堅調であるが、紳士衣料や婦人衣料の売れ行きは引き続き弱含んでいる。

食料品 顧客の低価格志向は強く客単価は低下している。野菜等のばら売りが好評であるが、不順な天候から飲料やアイスなどの動きは鈍かった。

家電製品 エコポイント制度の開始に伴い、買い控えられていた対象商品の売れ行きは大幅に伸びている。

自動車 諏訪・岡谷を合わせた5月の車庫証明件数（軽自動車除く）は814台で前年同月比△205台（△20.1%）の減少と8ヶ月連続の前年割れとなっている。

ホームセンター 園芸用品の動きは堅調であり、インフルエンザ対策のマスクや除菌グッズ等は売れ行きを伸ばした。

10. 観光

5月の大型連休の入り込み客数は前年を上回ったものの、連休の後半や週末の度に雨になるなど高原の観光地を中心に悪天候の影響を受けた。上諏訪温泉の宿泊者数は、善光寺の御開帳による集客効果などからホテル旅館により区々であるが総体では前年比10%程度増加している。蓼科・白樺湖・車山方面の宿泊者数は、週末の悪天候や新型インフルエンザによる団体客のキャンセルなどから入り込み客は前年を幾分下回った模様である。

E T Cの休日割引の効果は限定的であり、各業者からは首都圏の旅行客はより遠方の観光地に流れているとの声がきかれる。

上諏訪温泉 善光寺の御開帳による集客効果などから大型連休の入り込み客数は前年比で増加し、5月の宿泊客数もホテル旅館により区々であるが総体では前年比10%程度増加している。

蓼科・白樺湖・車山方面 大型連休の後半やその後の週末の天候が悪かったことや、新型インフルエンザによる団体客のキャンセルなどから入り込み客は前年を幾分下回った模様である。

下諏訪温泉 法人関係の宴会等の減少がきかれる。

諏訪大社 上社・下社を合わせたの参拝客数は約47千人と、団体客の減少などから前年同月比△17千人（△26.8%）の大幅な減少となった。